

環境経営レポート

2019年度

対象期間：2019年4月1日～2020年3月31日

発行日：2020年4月20日



環境経営方針

□ 基本理念

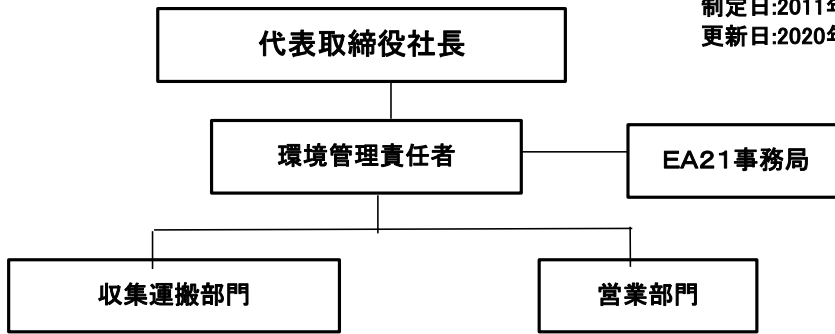
株式会社ソネザキは、廃棄物の収集運搬業務を通じて、循環型社会構築に向けて積極的に取り組み、地球環境及び地域環境の負荷を軽減し、持続可能な社会に貢献します。

□ 環境経営方針

1. エネルギー使用量の効率的利用によりCO2の削減に努める。
2. 廃棄物の収集運搬業務を通じ、循環型社会の形成に貢献する。
3. 廃棄物の再資源化及びリサイクルの推進に努める。
4. 水使用量の削減に努める。
5. 行政機関、地域や関係団体等との連携を密にし、社会全体の環境保全活動に積極的に参画・支援・協力する。
6. 環境関連法規等や当社が約束したことを遵守する。
7. 環境経営方針は、全従業員に周知する。
8. 環境経営目標・活動計画を定め、継続的改善に努める。

制定日：2011年4月1日
改定日：2020年4月1日
株式会社ソネザキ
代表取締役 藤下 正幸

制定日:2011年4月1日
更新日:2020年4月1日



	役割・責任・権限
最高責任者(社長)	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間等経営資源を準備 ・環境管理責任者を任命 ・代表者による課題とチャンスの作成、定期的に見直し ・環境経営方針の策定、見直し ・環境経営目標、環境経営計画書を承認 ・代表者による全体の評価と見直し、指示 ・環境経営レポートの承認
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営システムの構築、実施、管理 ・環境関連法規等の取りまとめ表を承認 ・環境経営目標、環境経営計画書を確認 ・代表者による全体の評価と見直し・指示に必要な情報(環境経営目標の達成状況等)を報告 ・環境経営レポートの確認
環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・環境管理責任者の補佐 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施 ・環境経営目標、環境経営計画書原案の作成 ・環境活動の実績集計 ・環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理 ・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・環境経営レポートの作成、公開(事務所に備付けと地域事務局への送付)
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚。 ・自主的・積極的に環境活動へ参加。

【主な環境負荷の実績】

項目	単位	2017年度	2018年度	2019年度
電力使用量CO2排出量	kg-CO2	4,805	4,933	4,955
自動車燃料使用量CO2排出量(ガソリン)	kg-CO2	1,810	1,995	1,703
自動車燃料使用量CO2排出量(軽油)	kg-CO2	98,344	95,723	83,899
CO2排出量合計	kg-CO2	104,959	102,651	90,557
一般廃棄物排出量	kg	220	240	230
水使用量	m ³	259	240	241
収集運搬搬送量	t	4,470	4,580	4,620

※ 2017年度電気事業者別二酸化炭素調整後排出係数：関西電力株式会社 0.418kg-CO2/kWh

※ガソリン：二酸化炭素排出係数 2.32kg-CO2/L 軽油：二酸化炭素排出係数 2.58kg-CO2/L

【環境経営目標・実績】

環境経営目標	単位	基準年度	2019年度		2020年度	2021年度	2022年度
		2017年度～2018年度 (基準値)	(目標)	(実績)	(目標)	(目標)	(目標)
収集運搬搬送量 (a)	t	4,525		4,620			
電力使用量 (b)	kWh	11,648		11,854			
電力使用量原単位 (b/a)	kWh/t	2.57	2.55	2.57	2.52	2.50	2.47
基準年度比	削減率		99%	100%	98%	97%	96%
軽油使用量 (c)	L	37,610		32,519			
軽油使用量原単位 (c/a)	L/t	8.31	8.23	7.04	8.15	8.06	7.98
基準年度比	削減率		99%	85%	98%	97%	96%
ガソリン使用量 (c)	L	820		734			
ガソリン使用量原単位 (c/a)	L/t	0.18	0.18	0.16	0.18	0.18	0.17
基準年度比	削減率		99%	88%	98%	98%	96%
水道使用量の削減	m ³	250	248	241	248	248	248
基準年度比	削減率		99%	96%	99%	99%	99%
一般廃棄物	kg	220	218	230	218	218	218
基準年度比	削減率		99%	105%	99%	99%	99%

*産業廃棄物は廃棄無し 化学物質は使用無し

□ 環境経営計画の取組内容とその評価、次年度の取組内容

<本社> 達成率：削減目標 = (目標 ÷ 実績) 向上目標 = (実績 ÷ 目標)

削減率：実績 ÷ 基準値

取り組みの達成状況：○できた (100%) △ (50%～100%未満) × 全くできなかった (0%)

取組内容	達成状況	継続/変更	評価と次年度の取り組み内容
電力使用量の二酸化炭素排出量の削減	達成率 99%		(目標少し未達成) ・不要電力の消灯 ・工場のため空調を使用せず外気を活用により大幅に目標を達成した。
・空調の適正化(冷房28℃・暖房20℃)	○	継続	
・ブラインド・すだれを活用	○	継続	
・昼休憩は電気を消灯する	○	継続	(次年度) ・破碎機等工場の生産性の向上に取り組む。
・LED照明への変更	×	次年度	
自動車燃料の二酸化炭素排出量の削減(軽油)	達成率 117%		(目標未達成) ・リサイクル処理量が増加し、車両運搬量が増加しているためエコドライブに努めたが未達成となった。
・不必要なアイドリングをしない	○	継続	
・急なアクセル・急なブレーキに注意する	○	継続	(次年度) ・仕事量と燃料使用量の削減は、相反するので目標設定を考える必要がある。
自動車燃料の二酸化炭素排出量の削減(ガソリン)	達成率 113%		
水道使用量の削減	達成率 103%		(目標達成) ・全員の節水の意識の向上により達成することができた。
・節水の呼び掛け	△	継続	(次年度) ・次年度も継続実施する。
・排水量・蛇口締めつけ確認	△	継続	
一般廃棄物の削減	達成率 95%		(目標未達成) ・ゴミの分別に努めたが少し未達成となった。
・分別の徹底	○	継続	(次年度) ・次年度も積極的に分別徹底する。
社会貢献	達成率 100%		
・事務所周辺の清掃活動(1回/月)	○	継続	・月1の会議後、全員で実施した。次年度も継続実施する。

□ 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。

適用される法規制	(施設・物質・事業活動等)	遵守評価
廃棄物の処理及び清掃に関する法律（廃棄物処理法）	一般廃棄物、産業廃棄物（産業廃棄物委託契約書、マニフェスト交付、保管、交付状況報告書 [※] ）	遵守
資源の有効な利用の促進に関する法律	再生資源及び再生部品	遵守
特定家庭用機器再商品化法（家電リサイクル法）	特定家庭用機器の排出（テレビ、エアコン、冷蔵庫）	遵守
使用済自動車の再資源化等に関する法律自動車リサイクル法）	事業者の責務（使用済自動車の引渡義務）	遵守
騒音規制法	特定施設の届出（破碎機定格出力：7.5kW以上）	遵守
振動規制法	特定施設の届出（破碎機定格出力：7.5kW以上）	遵守
消防法	消火器設置、点検	遵守

※ 環境関連法規制等の遵守状況の確認の結果、環境関連法規制等は遵守している。
なお、関係当局より違反、訴訟などの指摘は、過去3年間ありません。

遵守確認年月日：2020年3月1日
環境管理責任者：

□ 代表者による全体の評価と見直し・指示の結果

(1) 当社の環境への負荷の低減・管理への評価

昨今環境問題の一つにゴミの埋立地の枯渇による延命処置があり、当社はガラスのリサイクルを通して廃棄物の削減に貢献し、また廃棄物からの資源化により天然資源使用量の削減、生産工程でのCO₂削減など様々な面で環境負荷の低減に繋がるものだと考える。

(2) 環境マネジメントシステム導入の評価

今年度、処理量・運送量が急増し、化石燃料の増大につながっている。今後燃料の削減に努力が必要である。事業活動そのものが環境活動に繋がることを社員一同再認識し、これからの取り組みに生かしてもらいたい。このシステムの導入で実際の事業活動を各分野・種類に分け数値化し、評価できるようになり、より一層、質の良いリサイクルに繋がったと思う。今後もこのシステムを継続して、環境にやさしい事業活動を通し、循環型社会に貢献できればと思う。

次回の活動レポートの発行は、2021年5月を予定